

スーパー従業員殺される

閉店後 手提げ金庫消える

広島佐伯区



新谷 進 さん

三日午後十一時四十分ごろ、広島市佐伯区五日市中央四丁目、スーパー「マルシヨク五日市店」(郷田健社店長)北側の商品搬入通路で、同店主任の新谷進さん(三十一)安佐北区可部六丁目が、顔などから血を流して倒れているのを、警備保障会社の警備員が見つけ、



一〇番した。広島西警員が駆け付けたところ、新谷さんは首や頭などを切られ、既に死んでいた。テナントの食肉店から現金数千円などが入った手提げ金庫がなくなっており、広島県警は西警に捜査本部を設置

し、強盗殺人事件の疑いもあるとみて捜査している。調べでは、新谷さんは首や頭などの数カ所に切り傷があり、四日に広島大医学部で司法解剖した結果、失血死と分かった。同店の営業時間は午後九時までだが、三日は日曜日で客が少なく、八時半ごろ閉店。九時ごろにパートの女性従業員が帰宅する際、新谷さん一人が通路で作業をしていた。近くの会社員(三十七)が九時すぎ、一警察に

電話して「などの叫び声を聞いており、捜査本部は直後に駆け付けたとみている。西警員が駆け付けた際、通路奥の裏口のかぎは開いていた。かぎや凶器は見つかっていない。通路付近から約五十メートル北側の駐車場にかけて、血痕のようなものがあり、捜査本部は血液反応などを調べている。同店を運営するサンリブ(北九州市)によると、売上金は金融機関が翌日に回収。二、三の両日が土、日

曜日で金融機関が休みのため、三日夜には店舗一階南側の事務所の金庫に一日から三日分の売上金数百万円が保管されていた。事務所には、かぎが掛かり、売上金には手が付けられていなかった。新谷さんの所持金数万円も残っていたが、食肉店から小口資金などの入った手提げ金庫が

なくなっており、捜査本部は奪われた疑いもあるとみている。同店の警備システムは、最後に店を出る従業員がセ

ットする。三日は午後十一時になっても起動せず、警備会社の確認の電話にも応答がなかったため、警備員と派遣した。現場はJR五日市駅



新谷さんが殺害されていた商品搬入通路付近 (4日午前2時0分)